

アイス・ダンス

Question and Answer

2010年7月

音楽

1. Q. 聞き取れるビートとはどういう意味か？
A. ビートが聞こえてかつ明確でなくてはならない。ビートがはっきりと聞こえる場合には楽器を追加してビートを作り出す必要はない。ただし、ビートの音が小さくてリンクで聞こえない場合には何らかの音を追加してビートがより明確になるようにしてもよいだろう。聞き取れるビートは、選んだダンス音楽に典型的なものであれば打楽器でも他のどの楽器でも元々の楽器編成で鳴らしてよい。ビートが明確でない場合はビートを追加するか違う音楽を選ぶかしくはなくてはならない。

パターン・ダンス要素

ショート・ダンスのキーポイントの特徴（フィーチャー）を特定する際、もし特徴がクリーンな入りおよび／または出を要求している場合、その番号のステップ全体がクリーンでなければならない。もし特徴がクリーンなターンしか要求していない場合、ターンの入りおよび出はクリーンなエッジでなければならないが、必ずしもその番号のステップ全体で保たれていなくてもよい。

1. Q. ゴールデン・ワルツのクペにおけるフリー・レッグはフリー・レッグに触れている必要があるか？
A. コミュニケーションに記載されている特徴の仕様に従えば、YES.
2. Q. ヴィニーズ・ワルツの第1シーケンスのキーポイント1の男性のクローズ・チョクトーについて、規程第604条13項bの定義には、スケーティング・フットの踵の後ろでフリー・フットが氷に置かれるまでの間、フリー・フットがスケーティング・フットの甲に置かれていなくてはならないとある。しかし特徴の説明ではこのターンを“トウ”で説明している。
A. スケーティング・フットの踵の後ろでフリー・フットのどの部分が氷に置かれるのか（“トウ”）を明確にしたものである。テクニカル・パネルは甲とトウの間のどこが氷上に置かれようと受け入れうる。
3. Q. ヴィニーズ・ワルツの“クロス・ロール”を評価する際、テクニカル・パネルは何を見ているのか？
A. 正しいクロス・ロールを評価するためには、新しいスケーティング・フットがロング・アクシスを横切り、**見てわかるアウトサイド・エッジ**でショート・アクシス上に置かれなくてはならない。ここでの“ロング・アクシス”とは（リンクのロング・アクシスではなく）スケーティング・フットの軸のことであり、“ショート・アクシス”とは“新しい”スケーティング・レッグの軸のことである。

ツイズル・セット

1. Q. ツイズルのグループCの追加の特徴（フィーチャー）について次のように書かれている：“最初のツイズルの入りが半回転のジャンプ（ツイズルの入りのエッジはジャンプの着氷したエッジで決まる）”

アイス・ダンス

Question and Answer

2010年7月

半回転のジャンプはハーフ・ルッツやハーフ・フリップのようにトウ・ピックで着氷してからエッジで滑走するものでもよいか？

A. **NO.** ジャンプの着氷エッジがツイズルの入りのエッジとなくなってしまうので、ジャンプは滑走するエッジのみで着氷しなければならず、トウで着氷してはならない。

2. Q. 両足で立つことやスプレッド・イーグルを行うことはシーケンシャル・ツイズルまたはシンクロナイズド・ツイズルの1ステップとみなされるか？

A. **YES.**他にプッシュしないで2つ目のツイズルを行う場合は、両足で立つことやスプレッド・イーグルを行うことは1ステップとみなされる。

3. Q. 背後で両手をつなぐ追加の特徴では、両腕はまっすぐに伸ばさなければならないか？

A. **NO.** 両腕を身体から引き離しておく必要はあるが肘がロックするまで伸ばす必要はない。

4. Q. グループ C の追加の特徴としてジャンプからツイズルに入る際、ジャンプは半回転でなければならない。もしわずかだがジャンプの回転が足りなかったり回転しすぎていたりした場合はどうなるのか？

A. 回転の過不足が1/4未満のジャンプは許容範囲とする。

5. Q. ジャンプから入るツイズルで両足で踏み切った場合はどうなるのか？

A. 両足で踏み切るジャンプでツイズルに入るのはグループ C の追加の特徴として有効だが、一切のタッチダウンなく片足で着氷しなければならず、かつ着氷のエッジがツイズルの入りのエッジにならなくてはならない。

6. Q. グループ C の追加の特徴で3つ目のツイズルを使う場合、1つ目と2つ目のツイズルの間のステップの数と2つ目と3つ目のツイズルの間のステップの数は同じでなくてはならないのか？

A. **NO.** “全3ツイズルの間のステップの数が等しくなければならない”とは、ショート・ダンスのシーケンシャル・ツイズルでは全3ツイズルの間のステップは最大1つだけであること、フリー・ダンスのシンクロナイズド・ツイズルでは連続する2つのツイズルの間のステップは最大3つであることを意味する。

7. Q. もし1つ目のツイズルを向き合って行った場合、2つ目のツイズルも向き合って始めなくてはならないのか、それとも背中合わせで始めてもよいか？

A. 1つ目のツイズルを向き合って始めた場合、2つ目のツイズルを背中合わせで始めてもよい。

アイス・ダンス

Question and Answer

2010年7月

8. Q. ツイズル・セットのオプション2（ワン・フット）の最中のどこでタッチダウンがあっても、そのツイズル・セットは自動的にオプション1になるのか？
- A. **YES.** コミュニケーションには次のように書かれている：“カップルが動作／ターンの間にフリーフットでタッチダウンまたは余分のプッシュを行った場合、ツイズル・セットはオプション1とみなされ、同じレベルを得るためにはオプション1の追加の特徴が複数必要となる。” 加えて、ツイズルの最中にどのようなものであれタッチダウンがあった場合もやはりそのツイズル・セットはオプション2からオプション1に変わる。

リフト

1. Q. コンビネーション・リフトの2つ目のリフトが3回転以上の片手のローテーション・リフトで、1つ目のリフトの入り方が難しいものであった場合、このローテーション・リフトでレベル4を取るためにはリフトされるパートナーが補助なしで片手で降ろされなくてはならないのか？
- A. **YES.** 1つ目のリフトの難しい入り方と3回転以上の片手リフトから片手で降ろされることが要求される。
2. Q. フリー・ダンスにおいて同じタイプのショート・リフトを繰り返し行ってもよいか？
- A. **YES**（ショート・リフトを選んだ場合のみ）。ただし、リフトされるパートナーの難しい姿勢とリフトするパートナーの難しいポジションは繰り返してはならない。
3. Q. 片足のエッジに乗ってスパイラルから回転するステーションリー・リフトに入る場合、ステーションリー・リフトの難しい姿勢の3秒間のカウントはいつの時点から開始されるのか？
- A. リフトが一地点に留まったとき、このときから難しい姿勢の3秒間のカウントが開始される。リフトの時間としては、リフトされるパートナーが氷から離れた時から6秒間のカウントが開始される。
4. Q. 角度が変わっていくようなビールマン姿勢の場合、リフトでのビールマン姿勢はどのように特定されるのか？
- A. フリー・レッグのスケート靴が背後に引き上げられ、スケート靴の踵が身体**の垂直軸に対して**頭の高さより上になくなくてはならない。
5. Q. リフトするパートナーの身体が垂直でない場合、支持している腕／手の接触点がリフトするパートナーの頭より上かどうかはどのように判断したらよいか？
- A. **氷面**とリフトするパートナーの頭との水平面上の関係を見なくてはならない。

一般事項

1. Q. コミュニケーションには、“認められない (not permitted)” 動作という記述が多く見られる一方で、“許されない (not allowed)” もしくは“違反の” 動作という記述も見られる。これらの違いは何か？

A. アイス・ダンス技術委員会は一貫した用語の使い分けに努めており、何かが“認められない”とはそれをスケーターが行った際にジャッジが採点で引き下げを行うものであり、何かが“許されない”または“違反である”とはテクニカルパネルが減点を行うものである。

(訳注：アイス・ダンス関連文書の日本語訳に関しては特に“not permitted”と“not allowed”の訳し分けは今のところしておりません。)